

デジタル変革リーダー自己育成研究会

2022年度活動成果報告

2023年 4月13日
日本電気株式会社
株式会社DNP情報システム

山田 哲寛
寶田 雅文

目次

第1章 研究会の概要・ねらい

第2章 本年度の活動内容

第3章 本年度活動のふりかえり

第1章

研究会の概要・ねらい

研究会の概要・ねらい

10. デジタル変革リーダー自己育成研究会

オンライン

MURAL・Slack利用前提

研究テーマ：自らを「DXを通じた価値創出を主導するリーダー」に育成する手がかりを探る研究
～どうしたら私たちは経営と現場の想いに寄り添いながら、
デジタル変革を実現できる人材になれるだろうか？～

部会長 山田哲寛氏（日本電気株式会社）
副部会長 寶田雅文氏（株式会社DNP情報システム）

(1) 研究会概要・方針

本研究会では、自分自身を「DXを主導するリーダー」に育成していくすべを探究します。本年度は外部講師に学ぶ機会を復活し、視野の拡大と目標になり得る存在との出会いを期待します。また、講義とは別に参加者自身が「DXとは」「リーダーとなるには」を自分ごととして考え抜くワーク・議論の場を設け、学びを咀嚼し行動につなげることを目指します。活動時間は有限ですが「自己育成」に終わりはありません。日常に戻った「後」の行動変容の原点になる場をつくります。

※ 原則的にオンライン開催を予定しています

(2) 対象者

- ・DXを通じた価値創出に問題意識を持ち、DXリーダーを目指している方。
現時点の知識・経験のレベルは不問ですが、主体的にご参加いただくことで「成長角度」向上が期待できます。
受け身の姿勢では効果が小さくなります。
- ・チャット(Slack)、Web会議(Zoom)、Webホワイトボード(MURAL)を利用できる方。
各企業の秘密情報を研究会で使用することはありません。個人端末での参加も可能なように配慮します。

研究会の大きなテーマは、
DX（と価値創出を）主導する
**リーダーに自分自身を
育成すること。**

研究会の時間は有限だが、
会社に**戻った「後」に
行動変容を起こすことを
目指している。**

<https://www.juaseminar.jp/seminars/view/3122010>

第2章

本年度の活動

(参考) 過去2年の活動概要

■ 2020年度 (研究会発足初年度)

- ・ 講演を3回開催 (JUASアカデミー)
- ・ 幹事団主催のワークショップを3回開催

講演ダイジェスト1 石山 洸 氏 株式会社エクサウィザーズ 代表取締役社長

DX攻略地図 ~DXの成功確率を上げる論理的・定量的フレームワーク~

- ・ DX攻略地図 (経営~市場までの全体像)
- ・ DXのひとつの理解 (社会価値・社会変革まで至るのが本当のDX)
- ・ エクサウィザーズのDXの実践事例

※講師から受け取ってほしいこと (招聘意図)

- ・ 視野を広げてほしい。"IT部門員"の狭い視野を脱却してほしい。
- ・ DXで価値を出すまでの道のり (地図) を描いてほしい。

<https://juaseminar.jp/seminars/view/3820008>

関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

第1回:課題の具体化(デザインシンキングWS)

Rose, Thorn, Bud + Affinity Diagram + Statement Starterという3手法を使い、**現状認識や愚痴を今後の自分の目標に変換**。

お題

あなたの職場の「DX」の状況について、教えてください。
取り組みの姿勢や、実際に使っている/使おうとしているツールの評判など...

関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

2020年度Jフェス活動報告資料より

■ 2021年度

- ・ ワークショップのみ
- ・ 分科会 (4チーム) それぞれが独自に設定したテーマでイベント (JUASラボ) を開催

本年度の活動概要

- ・ デジタル変革リーダー自己育成研究会
 - ・ 自らを「DXを通じた価値創出を主導するリーダー」に育成する手がかりを探る研究
~どうしたら私たちは雑音と現場の想いに寄り添いながらデジタル変革を実現できる人材になれるだろうか?~
- ・ 今年度は分科会活動を主体に参加者自身でテーマ探求
 - ・ JUASラボで公開ワークショップを企画&主催

関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

JUASラボ (当日ワークショップ)

- ・ 分科会ごとに4テーマでワークショップを実施

関係者限り | 2021/4/16 Jフェス・JUAS研究活動成果報告会
JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会

2021年度Jフェス活動報告資料より

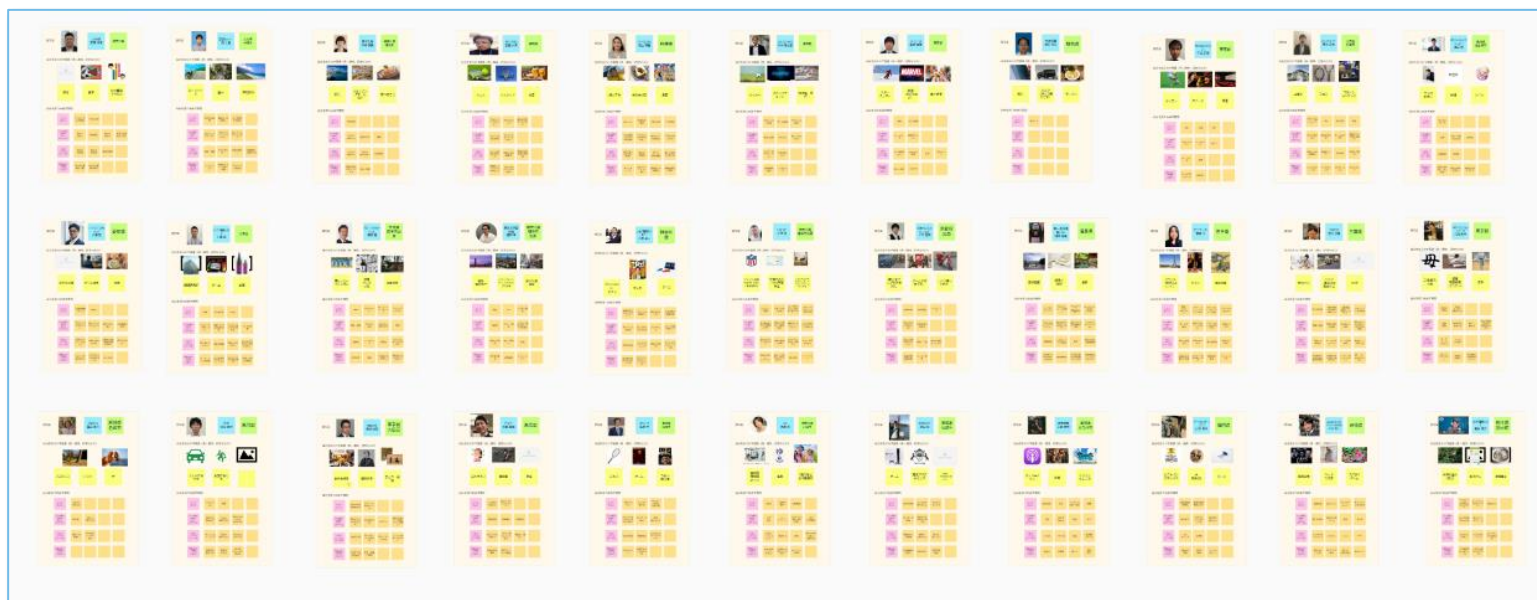
2022年度の活動

ワークショップ4回、講演（JUASアカデミー）2回、オフライン懇親会1回を開催

#	活動種別	当日のテーマ	開催日
第0回	準備会	自己紹介シートの作成 オンライン接続環境の確認	6/13, 6/15
第1回	WS1	DXとリーダーと育成と自分（ゴト）（研究会を通しての問題意識を出し合う）	7/7
第2回	講演1	『デジタルビジネスモデルと上流DX人材の選び方・育て方～4年目の成果』	9/15
第3回	WS2	リーダーの“人脈”とは？ どう作る？ どう生かす？	10/6
第4回	講演2	『コーポレートITの変革者に必要なこと ～組織の現実とリーダーの本当の価値～』	11/17
第5回	WS3	ようこそ！ TOKYO COMPLEXITY LAND（Management 3.0の体験と探究）	1/22
臨時追加	懇親会	初リアル開催 デジタル変革リーダー自己育成者たちの対面交流会 ※当初計画に無かった追加開催	2/22
第6回	WS4	1年間の学びふりかえり&次やること宣言（コミットメント）	3/3

2022年度の活動 第0回 自己紹介（Me In Picture）

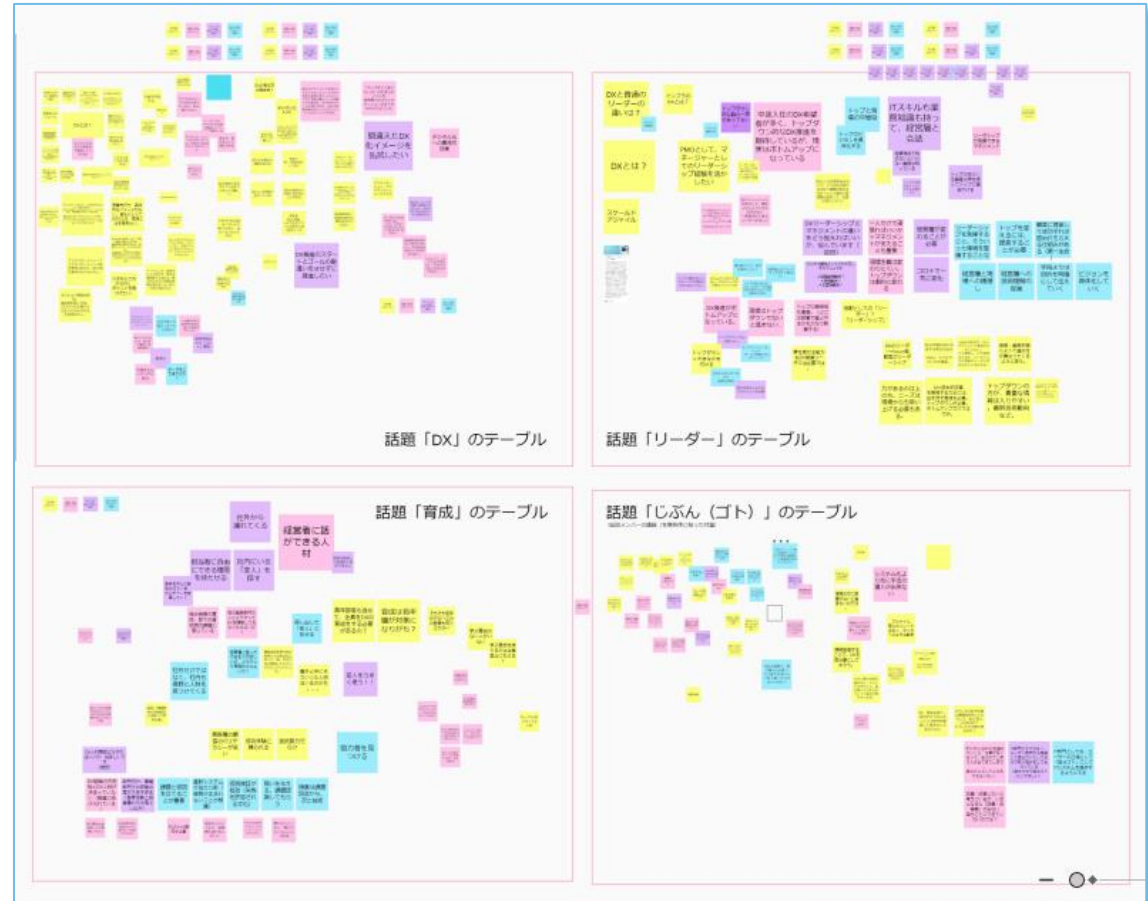
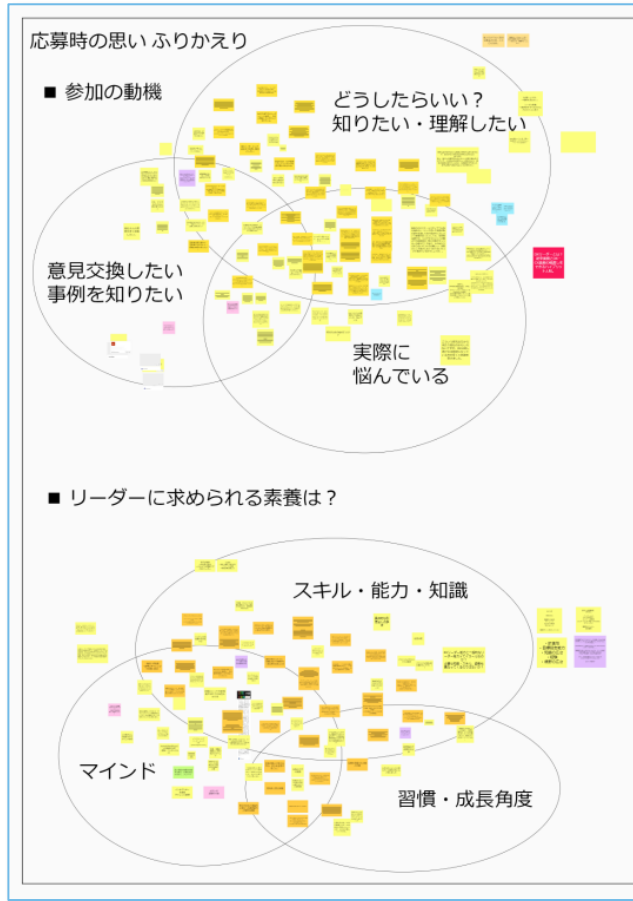
第0回（オンライン環境動作確認）で自己紹介シートを作成。
どんな人が参加しているのかを互いに知る手がかりにした。（対面懇親会では名札として使用）



2022年度の活動 第1回 ワークショップ

DXとリーダーと育成と自分（ゴト）

応募時の動機、思い描いていたリーダー像を議論し、研究会を通しての問題意識を出し合った。



2022年度の活動 第2回 講演(JUASアカデミー)

デジタルビジネスモデルと上流DX人材の選び方・育て方～4年目の成果

<https://juasseminar.jp/seminars/view/3822008>

JUASアカデミーとして講演パート開催後、 研究会メンバだけの質疑・議論パートを開催


DXは広く経営課題として認知され、デジタル技術とデータを活用した”価値ある”サービスを生み出すこと、それができる組織に変革することが求められています。しかし、これは簡単なことではありません。

住友生命の健康増進型保険「Vitality」の開発責任者であり、デジタルオフィサーとして同社のデジタル戦略立案と人材教育を実践されてきた岸和良氏は、国内外のDX成功事例の分析から「DXとは『データ』『デジタル』『ビジネスの仕掛け』を使った経営改革だ」と考えておられます。

これまではビジネスを考える人材とシステムを考える人材は別々に教育するのが普通でしたが、DX時代は「データ」「デジタル」「ビジネスの仕掛け」を兼ね備えた人材が求められるというのです。

今回のJUASアカデミーでは、岸和良氏の実践経験をもとに、この3要素を兼ね備えた人材育成の要点をご講演いただきます。


「DX人材・ビジネス発想を備えた人材を育てるにはどうしたらよいか」と悩まれている皆様、ぜひご参加ください。

	•講師 岸和良 氏 (住友生命保険相互会社 理事 デジタルオフィサー)
	生命保険基幹システムの開発・保守、システム企画、システム統合プロジェクト、生命保険代理店の新規拡大やシステム標準化などを担当後、健康増進型保険「住友生命「Vitality」」の開発責任者を担当。現在はデジタルオフィサーとして、デジタル戦略の立案・執行、社内外のDX人材の育成活動などを行う。株式会社豆蔵デジタル担当顧問。株式会社NODE客員 Director。

JUAS デジタル変革リーダー自己育成研究会主催 参加費無料 JUASアカデミーオンライン

JUASデジタル変革リーダー自己育成研究会では、自分自身を「DXを主導するリーダー」に育成していくための探究をテーマとして活動しています。今回は、研究会の講演をJUASアカデミーとしてお届けします。※本アカデミーはZoom Webinarでのオンライン配信を予定しております。

デジタルビジネスモデルと 上流DX人材の選び方・育て方～4年目の成果

2022年**9月13日(火)**15:00-16:00ライブ配信 

これまではビジネスを考える人材とシステムを考える人材は別々に教育するのが普通でしたが、DX時代は「データ」「デジタル」「ビジネスの仕掛け」を兼ね備えた人材が求められるというのです。岸和良氏の実践経験をもとに、この3要素を兼ね備えた人材育成の要点をご講演いただきます。DX人材・ビジネス発想を備えた人材を育てるにはどうしたらよいかと悩まれている皆様、ぜひご参加ください。

申込URL: <https://juasseminar.jp/seminars/view/3822008>


ご講演：岸和良 氏 (住友生命保険相互会社 理事 デジタルオフィサー)

生命保険基幹システムの開発・保守、システム企画、システム統合プロジェクト、生命保険代理店の新規拡大やシステム標準化などを担当後、健康増進型保険「住友生命「Vitality」」の開発責任者を担当。現在はデジタルオフィサーとして、デジタル戦略の立案・執行、社内外のDX人材の育成活動などを行う。株式会社豆蔵デジタル担当顧問。株式会社NODE客員 Director。

一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3 お問い合わせはseminar@juas.or.jp

2022年度の活動 第2回 講演(JUASアカデミー)

講師の著書を事前に分担して要約する事前ワークを実施。
活発かつ具体的な質疑・議論につながった。



●著書
ビジネス発想を持った上流エンジニアを養成する
「DX人材の育て方」
岸 和良氏, 杉山 辰彦氏, 稲留 隆之氏, 中川 邦昭氏, 辻本 憲一郎氏

「データ」「デジタル」「ビジネスの仕掛け」を考えてデジタル戦略を創り上げる
DX人材の育て方についての答えがここにある。



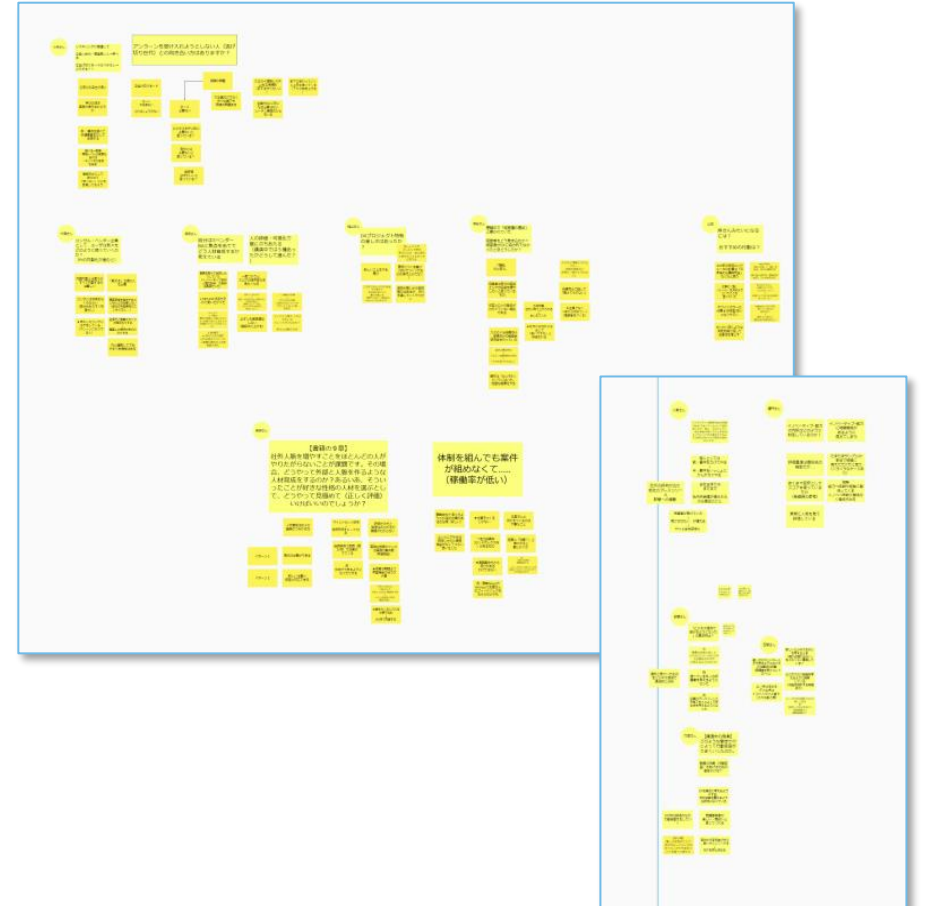
■ 要約のポイント2つ

1. 自分の**解釈**を入れない
解釈や疑問は「質問」にぶつけよう
2. 要約のセンスは人それぞれ
人と違っても気にしない

【マインドセット研修概要】
学生生活での研修の事例
1. DXとは何か
2. 必要な用語の知識
3. ビジネスの発想

【マインドセット研修の目的】
既存システムを開発するエンジニアをDX人材にシフトすることが目的
エンジニアもビジネスに強いことが必要

【研修の実際】
研修を履修してビジネスを学びDXでビジネスを変革するアイデアを出すためのプロセスを学ぶ
研修終了後、ビジネス発想に関する気づきがあり、発想に自信がつく



DX人材の育て方

DXとは何か
必要な用語の知識
ビジネスの発想

【研修の実際】
研修を履修してビジネスを学びDXでビジネスを変革するアイデアを出すためのプロセスを学ぶ
研修終了後、ビジネス発想に関する気づきがあり、発想に自信がつく

【研修の目的】
既存システムを開発するエンジニアをDX人材にシフトすることが目的
エンジニアもビジネスに強いことが必要

【マインドセット研修概要】
学生生活での研修の事例
1. DXとは何か
2. 必要な用語の知識
3. ビジネスの発想

2022年度の活動 第3回 ワークショップ(2本立て)

- ・ 参加メンバから事例紹介 (第一生命情報システム株式会社 須貝絵美さん Studio Xedge 事例)
- ・ リーダーの“人脈”とは? どう作る? どう生かす?

前半で参加メンバの事例紹介から学び、後半で「人脈」という捉え方の難しいテーマについて議論した。

■ 事例紹介からの学び

◆ 紹介を聞きながらのコメント・質問

◆ 学びになったポイント・活かしたいこと (個人ワーク・グループディスカッション)

【テーブル5】

■ リーダーの“人脈”って何だろう? どんな価値があるだろう? (Why What)

■ “人脈”をどう作る? どう活かす? (How)

「繋がり」や「お互いにお互い」みたいなのは関係が人脈? となり関係、つながり選別すると意見ができました。どうでしょうか?

2022年度の活動 第4回 講演(JUASアカデミー)

コーポレートITの変革者に必要なこと ～組織の現実とリーダーの本当の価値～

<https://www.juaseminar.jp/seminars/view/3822014>

JUASアカデミーとして講演パート開催後、研究会メンバだけの質疑・議論パートを開催

JUAS加盟企業の皆さんは、コーポレートIT(社内情報システム)に携わることが多いと思います。

そして、そこで出会う課題がITやデジタル技術だけでは到底解決できないことも実感されているのではないのでしょうか。

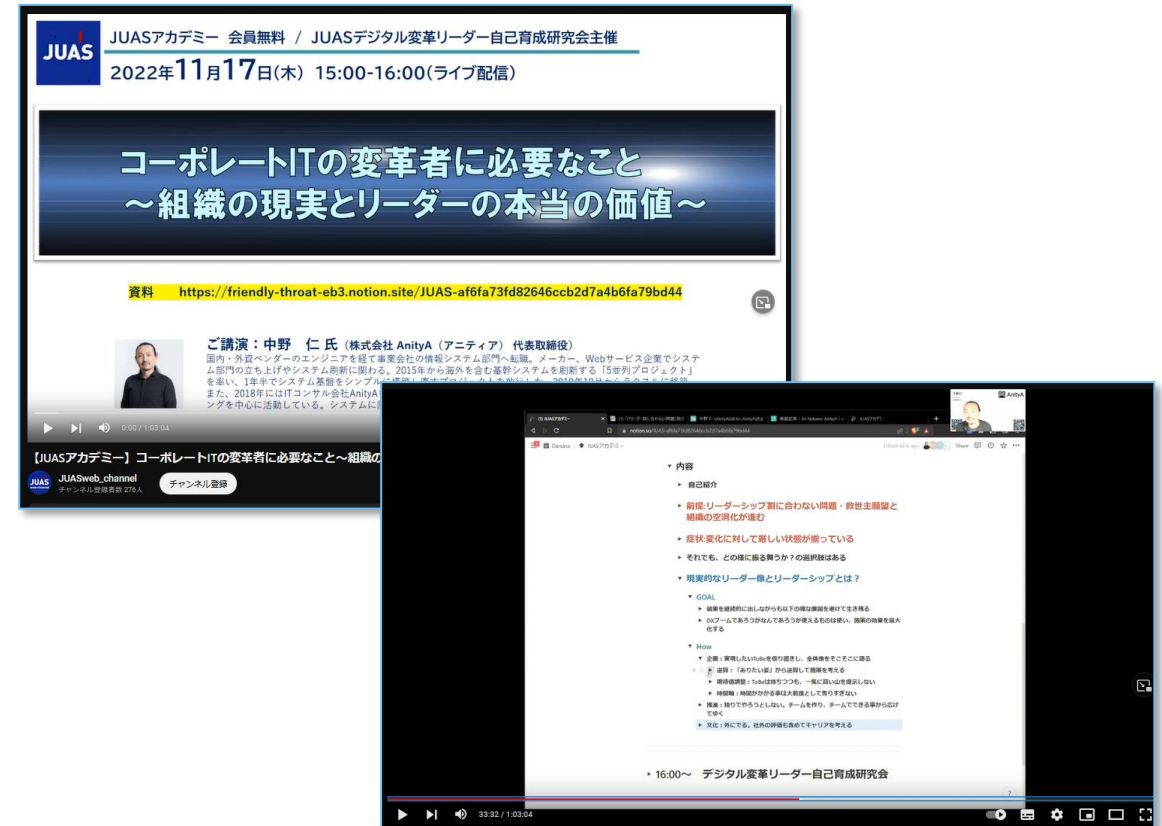
現場で本当にITを生かせる組織づくり、部門横断で協力してビジネス課題に立ち向かう文化醸成など、システムづくりとは別次元の困難に直面されていることでしょう。

今回のJUASアカデミーでは、コーポレートIT領域変革の最前線で戦い続ける株式会社AnityA 代表取締役 中野仁氏をお招きし、システムに限らない企業の本質的な変化を実現するために必要なこと、必要な行動について伺います。

企業におけるITシステム刷新と組織変革の両方に造詣が深く、かつ実践者であり続けている中野氏。氏の視点に触れることで、漠然とした不安を真の危機感に変え、リーダーとして行動を起こしてみませんか？

講演パート録画をYouTube JUAS Web Channelで公開中

<https://www.youtube.com/watch?v=Ug2ThfhOvqg>



2022年度の活動 第5回 ワークショップ

ようこそ！ TOKYO COMPLEXITY LAND / Welcome to TOKYO COMPLEXITY LAND

<https://speakerdeck.com/takarada/welcome-to-tokyo-complexity-land>

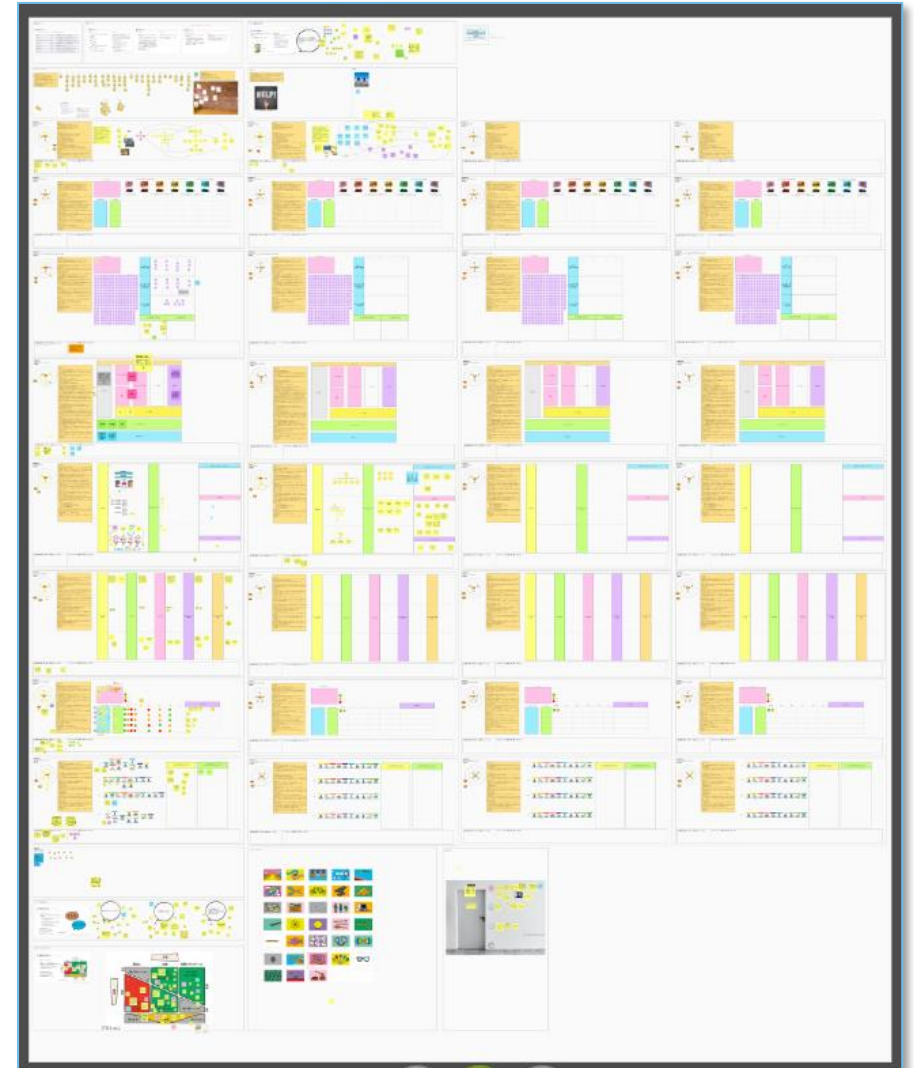
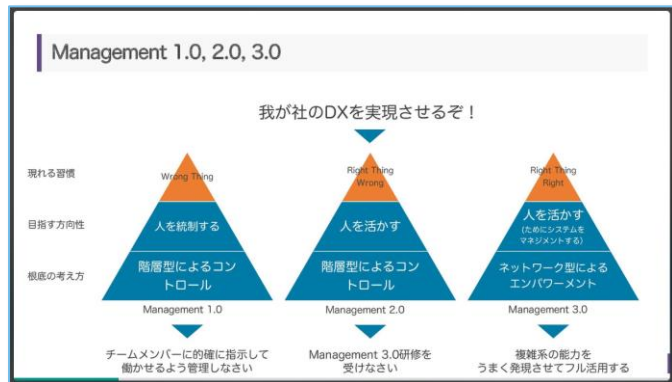
Management3.0の概説とプラクティスを通じて、
複雑系と自己組織化を体験するワークショップを開催した。



今日のメニュー

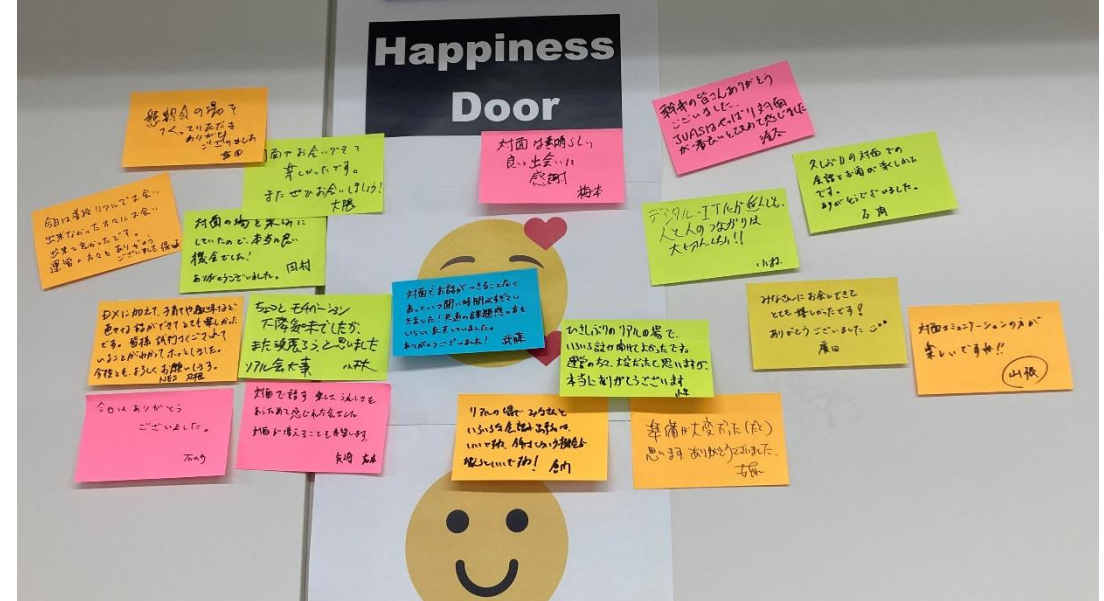
※ メインは全員、Room1-8のプラクティスは各自で自由に選択できます

メニュー	ルーム	こんなときに...
Kudoカード	メイン	キスギして仕事だけの関係になってしまってるチームに
メリツマネー	メイン	ベストを尽くしたり他メンバーを助けたりする行動が見られないチームに
パーソナルマップ	Room1	会社や業界の質の低下がパフォーマンスに影響してしまっているチームに
デリゲーションボーカー	Room2	チームが自発的に動いてくれないとお悩みのマネージャー/リーダーに
ピッグバリュカード&アイトンティシンボル	Room3	チームの一体感が薄く、単に一緒にいるだけのグループになっているチームに
エクスポレーションデー	Room4	きこりのジレンマ（強いて方ごぼれた後で後戻り続ける）状態に陥っている組織に
ビジネスギルド	Room5	縦割り組織で横断的なコミュニケーションが活発でない組織に
フィードバックラップ	Room6	建設的なネガティブフィードバックがなくて伸び悩んでいるチームに
コンピテンシマトリクス	Room7	個人化問題を解消したいチームに
ムービングモチベーターズ	Room8	チームのモチベーションが落ちて空気が重いときに
休憩所（雑談所）	Room9	ワークに疲れたらワークについてちょっと話したかったりする場合にどうぞ
イエイ！クエスチョン	メイン	経験したことから簡単に学びを得て改善のサイクルをまわす
セレブレーショングリッド	メイン	経験したことからしっかりと学びを得て改善のサイクルをまわす
ハピネスドア	メイン	会議やイベントの開催者側の人がすばやくフィードバックを集める



2022年度の活動 オフライン懇親会(人形町 JUAS会議室)

研究会初のオフライン（対面）会合を懇親会として開催。（当初計画には無かった特別開催）



2022年度の活動 第6回 ワークショップ

1年間の学びふりかえり & 次やること宣言 (コミットメント)

研究会で学んできたコンテンツと自身の得たものを改めて棚卸したうえで、「次の1歩」を宣言した。

■やったことのふりかえり (リンク集)

■わかったことのふりかえり

■宣言 (コミットメント)

■つぎやること

第3章

本年度活動のふりかえり

今年度活動のふりかえり

- 講演を聴く前の「**予習**」は非常に有効だった
 - 講師の**著書やWeb記事を事前に読む**ことで講演の理解が深まり、講演後のディスカッションパートも充実した。
- メンバも一緒に研究会を盛り上げてくれたことに感謝
 - メンバ同士で**自発的な交流・情報交換**が起きた。
 - オンライン開催（分科会無し）にもかかわらず一体感があり対面の機運が高まった。
 - 終盤に急遽開催した対面での懇親会も好評だった。
- **偶然性を織り込んだプロセス設計**をしていきたい
 - どんなメンバになるかはその年しだいだが、勇気を出して声をあげてくれる人が偶然でたときに、その**想いに応えられる（活動や成果につながる）仕掛け**を用意したい。
 - DX（不確実性の高い状況下で探索するとき）と同じく、人が生きるような働きかけが大事。
 - 本年度の取り組みとメンバが噛み合ったのは**計画的偶発性**の発揮と言えるかもしれない。

近日開催！

【JUASラボ】 Management 3.0～マネージング・フォー・ハピネス【オンラインライブ】

JUASラボオンライン

JUAS

JUASラボは、日々の業務改善やイノベーションにつながる「ヒントの引き出し」を増やしていただく場です。情報の受け取りだけでなく、ご参加いただくみなさまからのフィードバックやこの場で生み出された知見が、JUASのコミュニティやセミナーの誕生につながり、またみなさまに循環し活用していただくことを目指しています。

Management 3.0

～マネージング・フォー・ハピネス～

2023年5月12日(金)15:00-17:00ライブ配信

申込URL: <https://juasseminar.jp/seminars/view/4723002>

JUAS会員/ITC:3,000円 一般:3,000円(1名様あたり 消費税込み、テキスト込み)



幸福度の高い組織は、生産性と創造性が高いと言われます。チームの幸福度を高めるマネジメントのアプローチを改善することに焦点を当て、より効果的なマネジメントを実現するためにはどうしたらいいでしょうか。本ラボは「マネージング・フォー・ハピネス」の翻訳者でもある寶田氏が「幸せで生産性の高い組織になるためにはどうすべきか」をワークをしながらお伝えします。

講師：寶田 雅文 氏
(DNP情報システム システム第3本部コミュニケーションサービス部2課 課長)

DNPグループ全社に社内情報基盤を提供するインフラチームのマネージャーとして「対話のプラットフォーム上にそれぞれのメンバーの個性や強みを前提にした最高のコラボレーションを発揮するハイパフォーマンスチーム」になるためのマネジメントについて日々奮闘中。Management 3.0認定ファシリテーター。「マネージング・フォー・ハピネス」の翻訳を手掛ける。



一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS) 東京都中央区日本橋堀留町2-4-3 お問い合わせはseminar@juas.or.jp

<https://juasseminar.jp/seminars/view/4723002>

質疑応答

以上